



ひだご坊



念じられ 照らされて

報恩講に身を運びましょう

谷本 修

二〇〇五年から二〇一一年までの六年間、私は真宗大谷派(東本願寺)の職員として高山別院(飛騨御坊)の中にある高山教務所(現岐阜高山教区高山教務支所)に勤務しました。もともとお酒好きの私ではありましたが、飛騨の日本酒熱爛(あつた)返杯文化にとことん育てられました(コロナ以降は同じ盃を交わす返杯はされていないかもしれませんが)。おかげで本当に多くの方と、本当にたくさん語り合いました。

寺の法要に呼んでいただき、久しぶりに何人もの懐かしいお顔にお会いし、とても嬉しかったです。親鸞聖人の教えを聞く場をみんなで開いていくのがメインの仕事の、教区駐在教導という役職でしたが、その私自身が浄土真宗の教えを生きる飛騨高山の人に育てられたのだと感じています。

高山の後、北海道教区に赴任し六年間いました。北海道に浄土真宗が伝わったのは基本的には明治からですので、高山のように歴史があるわけではありませんが、北の大地にもお念仏を大切にしながら熱く生きている人が多くおられ、たくさん

道場として開き続けることに力を尽くしてお浄土に還られた先達や、今も踏ん張り続けている方の存在が、「自分もそう在りたい」と思わせてくださっているからだ、強く感じています。浄土真宗の教えを生きるものは、御同朋の世界を賜(たま)うのだと、思います。法そのものである阿彌陀如来です。仏教徒としてどれだけ大切でも、人である限り、お釈迦さまも親鸞聖人もご本尊にはしないのです。それは、絶対者を絶対には作らないことを意味します。人を絶対者にする、人間は必ず間違(まちが)うからです。

南無阿彌陀仏の法のもと、お釈迦さまから「親友よ」と、親鸞聖人から「御同朋よ」と、呼びかけられています。その呼びかけは、差別や支配・被支配の世界を生み出し続ける私への、「それは真実ではないぞ」という厳しい声でもあります。問題は私自身にあるからこそ、仏法を聞き続けなければなりません。お寺は聞法の道場です。高山別院や各お寺の、報恩講をはじめとするお座に身を運びましょう。



<略歴>
1969年大阪府生まれ。本山同朋会館常勤補導、旧高山教区・北海道教区・京都教区の駐在教導を経て、現在岡崎教区第三十四組敬信寺住職。

別院定例法座

午後1時から

11月 28日 親鸞聖人ご命日法座

講師 小原 正寛氏 (専念寺住職)

12月 3日 三日の坊

講師 白尾 匡氏 (長圓寺住職)

28日 親鸞聖人ご命日法座

講師 石井 宗氏 (西教寺住職)

講題 「悩み、苦しみ、老い、病い、死が私の生を問いかけてる!!」

高山別院報恩講 子ども作品展

十月十九日から十一月四日午前まで、高山別院本堂では報恩講子ども作品展の作品が展示されています。今年も書道塾、教室、個人より小・中学生の書道作品二〇三点が出品され、左記の通り各賞の入選が決まりました。受賞者の方々にお祝い申しあげますとともに、ご参加くださった皆さま方に御礼申しあげます。別院報恩講お参りの際にご覧ください。

なお、作品展の表彰式は、十一月四日(月)午前十一時〜十二時に別院本堂で開かれる「子ども報恩講」にて執り行われます。ご家族そろってお参りください。

御坊報恩講

中舎 文(小二)

【金賞】

柄本燈真(年長)・山越楓子(小二)・山越海結(小三)・河合彩芭(小四)・塚腰日咲(小五)・高家莉紅(小六)・村田亜実(中一)・寺垣珂瑚(中二)

【銀賞】

打保莉佳(小一)・柄本千智(小二)・奥田紬麦(小三)・杉山永和(小三)・横山敢大(小四)・長瀬芽衣(小四)・伊藤悠真(小五)・大江謙剛(小五)・今井柑菜(小六)・梶井柚那(小六)・田原匡人(小六)・牛丸結衣子(中一)・谷口藍唯(中二)・大江きなり(中二)・長瀬遙飛(中三)

【銅賞】

切手彩月(小一)・藤井結菜(小二)・伊藤亜美(小二)・清水柚依(小三)・井戸端蒼太(小三)・田原三鳩(小三)・林志郎(小三)・田中皓雅(小四)・西本尚央(小四)・元田莉子(小四)・小林湊(小五)・今井乃愛(小五)・河合深和(小五)・清水謙蔵(小六)・溝口真優(小六)・蓑晴子(中一)・砂田友那(中三)

【佳作】

森下さゆ(幼)・河合彩和(幼)・柚原瑠愛(小一)・高家賢翔(小二)・塚上富心(小二)・相山晴陽(小三)・前原音々(小三)・上嶋咲絵子(小四)・打保友惟(小四)・和仁綾香(小四)・野原紬(小五)・都竹心晴(小五)・林恋世美(小五)・白野煌巳(小五)・田中友紀乃(小六)・清水咲希(小六)・和仁紗樹(小六)・小林美結(小六)・井口愛梨(小六)・田腰恵万(中一)・水口依桜羽(中二)・阪本遥菜(中二)・畑中朝陽(中三)・辻彩恵子(中三)

(以上、敬称略)



URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>
11月1日から12月31日の期間は右の方々の法話を随時掲載してまいります。



- 氏 男(信) 氏 見(智) 氏 らん(見) 氏 清(美) 氏 蓮(智) 氏 春(智) 氏 島(見) 氏 川(清) 氏 上(水) 氏 光(本) 氏 三(島) 氏 細(川)

講題 「悩み、苦しみ、老い、病い、死が私の生を問いかけてる!!」

しとび

【銀賞】

(以上、敬称略)

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの
意味をたずねていこう

ひだご坊

報恩講



報恩講ページはこちら

11月 1日 (金)	午後1時	初逮夜 音楽法要 第43回 ひだ御坊 真宗公開講座(第2回)	講題 「念仏の道場」 講師 佐賀枝 立氏(富山教区榮明寺住職)
	午前7時	晨朝(お朝事)	法話 講師 森 香里氏(秋聲寺前坊守)
2日 (土)	午前10時	日中	講師 佐賀枝 立氏(富山教区榮明寺住職) 講題 「恩を報じ徳を謝す」
	午後1時	大逮夜 同朋唱和	曲目 「平家物語」 那須与一 壇ノ浦悲曲 「隅田川」
	午後6時半	御伝鈔の夕べ	拝読時に異国の 楽器音楽が融合! 拝読者 高山別院列座 演奏者 曾爾テラワキ氏
3日 (日)	午前7時	晨朝(お朝事)	法話 講師 中川 唯真氏(岐阜高山教区駐在教導)
	午前10時	帰敬式	法話 講師 三島 多聞(高山別院輪番) 講題 「真宗門徒」
	午後1時	満日中	



琵琶演奏者



田中 旭泉氏



酒井 旭粹氏



幼少の頃よりピアノをはじめ音楽家としての道を歩み、1999年オーストラリアの先住民アボリジニの風笛「イダキ」と出逢う。舞台音楽や奉納演奏など幅広く活動する音楽家。HIDAKI代表。

御坊茶会

日時 11月1日(金)
午前11時～午後3時
会場 高山別院庫裡御殿

お浸え

報恩講翌日のお朝事です。ぜひお参りください。
日時 11月4日(月) 午前7時～

子ども作品展

期間 11月4日(月)午前まで
会場 高山別院本堂

家族報恩講(子ども作品展表彰式)

期間 11月4日(月・振替休)
午前11時～
会場 高山別院本堂

参拝送迎バス

11月2日・3日には別院報恩講参拝のためのバスを運行します。乗車場所・時間等のお問い合わせ、お申し込みはお手次のお寺までお願いします。

【2日】

白川村、荘川町、久々野町、一之宮町、清見町、下之切町、山田町、飛騨市、国府町

【3日】

朝日町、丹生川町、下呂市

ひだご坊ブックフェア

親鸞聖人、真宗に関するさまざまな書籍を販売します。
期間 11月1日～3日

ご坊名物「大根汁」

期間 11月1日～3日

報恩講バザー

あんころ餅、焼きそば、パン等を販売します。
期間 11月2日～3日

※お昼のお斎は中止

12/18 真宗公開講座(第3回)

講師 乾 文雄氏(大谷中学・高等学校校長)
講題 「聞(もん)・問(もん)・開(かい)」という歩み
会場 高山別院御坊会館 参加費 500円

12/10 岐阜別院 団体参拝 報恩講

(参加費6,000円)
参拝のお申し込みは
高山教務支所(32-0776)まで

12/21 高山別院 お煤払い奉仕のお願い

12月21日(土)午後1時より、本堂のお煤払いを行います。一年の汚れを落とし、新年をお迎えます。ぜひともご奉仕をお願いいたします。

※持参品
マスク・タオル・軍手など

12/31 除夜の鐘と修正会

高山別院では年越し前から除夜の鐘つきが始まり、年が明け、午前0時から本堂にて修正会が勤められます。修正会は、一年の初めに荘厳を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむ仏事です。ぜひ、高山別院にお参りいただき、新年の歩みを始めましょう。

除夜の鐘
12月31日(火)
午後11時45分～

修正会
1月1日(水) 午前0時
1月2日(木) 午後1時
1月3日(金) 午後1時

